



いばらき県議会だより

茨城県議会 検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/mobile/gikai/>

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています

音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています

発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.210

迎春

2020年



令和元年第4回定例会の様子



茨城県議会議事堂



東京五輪・パラリンピックの 成功と希望溢れる茨城づくりを

茨城県議会議長 森田悦男

新年明けましておめでとうございます。昨年十二月の第四回定例会において、第十二代議長に就任いたしました。その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。昨年五月に天皇陛下が即位され、まさに新しい「令和」の時代を迎えました。急速な人口減少や少子高齢化の進行、経済社会のグローバル化などの時代の変化に的確に対応し、新時代にふさわしい「新しい茨城づくり」に取り組んでいかなければなりません。

特に、本県人口が年に一万五千人も減少という非常事態の中、力強い産業の育成・創出や県土の均衡ある発展、さらには地域の特性を生かした本県の魅力向上に向けての政策などに優先して取り組む必要があります。また本年は、オリンピック・パラリンピックの開催もあり、茨城カシマスタジアムでのサッカー競技の成功はもとより、その開催の効果を県全体に広げていくことも大切です。希望に溢れた誇りある郷土いばらきを創り上げ、次代に引き継いでいくため、大井川県政と軌を一にしながらも、行政監視機能を遺憾なく発揮し、執行部と「車の両輪」として県議会一丸となり県勢発展に向けて誠心誠意取り組んでまいります。

正副議長就任あいさつ

郷土いばらきのさらなる発展を



茨城県議会副議長 伊沢勝徳

謹んで新春のお慶びを申し上げます。先の第四回定例会におきまして、第百十三代副議長に就任いたしました。職責の重大さを痛感するところでございます。

となり、輝かしい未来を実現していくためには、県の総力を挙げて地方創生に取り組むとともに、県民総活躍社会を見据えた暮らしやすい環境整備を進め、県民の安全安心を確保し、本県発展に向けた施策の着実な推進を図る必要があります。

さて、昨年の台風などにより、本県では甚大な被害が発生しました。被害に遭われた皆様に心からのお見舞いを申し上げます。被災された方々の心に寄り添い、一日も早い生活と生業の再建に取り組むとともに、災害に強い県土づくりを図る必要があります。また、少子化に歯止めがかからない中、本県の将来を担う子どもたちが、健やかに成長できる環境の整備も重要な課題であります。さらには、本県が「県民が日本一幸せな県」

これらの課題に的確に対応し、郷土いばらきのさらなる発展のためには、県議会において自由・闊達な議論が行われ、地域の声が県政に反映されることが何より重要であります。森田議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいりますので、県民の皆様には、なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和元年十一月 臨時会を開催

令和元年十一月十九日に臨時会を開催しました。概要は、第二面をご覧ください。

第四回定例会の概要

令和元年第四回定例会は、十二月四日から十二月二十日まで十七日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、茨城県いじめの根絶を目指す条例、茨城県主要農作物等種子条例など、知事から、令和元年度茨城県一般会計補正予算、水戸市の中核市指定に伴う関係条例の整備に関する条例などが提出されました。

一般質問は、二〇二〇年東京オリンピックに向けた警備対策、併設型中高一貫教育校における学校経営、「県民が日本一幸せな県」実現のための政策展開と予算編成の在り方などの項目について行われました。(三～四面)

各常任委員会では、付託議案の審査、県北地域に対する政策の底上げ、いばらき大使の活動などの検証、道の駅の防災拠点としての在り方、妊婦健診における公費負担の回数上限の見直し、国体・障スポのレガシーを生かした今後の取り組みなどが議論されました。(五面)

産業の育成・振興に関する調査特別委員会では、県内産業の育成・振興に関する諸方策の在り方について調査・検討を重ね、本会議で調査結果を報告しました。(六面) 決算特別委員会では、平成三十二年度決算の認定議案などについて審査が行われました。(六面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、認定、意見書、請願などの三十七件の議案が可決、同意、認定、採択されました。